

(1) 宿泊施設の準備状況

- 4月10日（金）から4月16日（木）まで、宿泊施設の意向調査を実施（一次締切は4月13日（月））。26施設から4,842室の提供意向をお寄せいただいたところ。
- 施設規模や提供可能期間等を踏まえ、宿泊施設に目処をつけるとともに、地域ごとに、病床の利用状況や患者の発生状況を踏まえて、必要に応じて宿泊療養を実施していく方針。

(2) 札幌圏域（札幌市）の状況

- 札幌圏域では、感染症病床（市立札幌／8床）のほか、一般病床等の活用により175床（札幌市171床、千歳市4床）を確保。
- 4月17日（金）時点で、札幌圏域の患者数は125名（うち、札幌市内に入院・調整中の患者数は120名）。18日（土）以降も、毎日2桁以上の患者が発生するおそれがあり、今週末にも病床数がひっ迫するおそれ。
- このため、4月20日（月）から、札幌市を中心に宿泊療養を開始。
施設規模や提供可能期間等を踏まえ、東横INN札幌すすきの南（120名程度）
なお、当面、入院中の患者のうち軽快者を対象として宿泊療養に移行。
- 併せて、札幌圏域の医療機関に対し、患者（重症・中等症）の大幅な増加を見据えた病床確保のシミュレーションなど、さらなる患者数の増加に備えるよう要請。

新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養について

陽性者
↓
入院

対策を
移行

地域での感染拡大により、入院を要する患者が増大し、**重症者等に対する入院医療の提供に支障**をきたすおそれ

- ・ 地域の感染拡大状況
- ・ 患者受入れ状況
- ・ 今後の感染者増の兆候

陽性者
↓
入院

軽快化

入院患者のうち軽症者(症状がない又は比較的軽症患者)

- ・ 症状はないが検査で陰性確認されていない者
- ・ 症状軽快している者(37.5℃以上の発熱がなく呼吸器症状改善)
- ・ 次のいずれの症状にも該当せず、入院先の医師が症状や病状の状況等から必ずしも入院が必要な状態ではないと判断した者
 - ① 高齢者(年齢では規定せず、認知機能、身体機能をみて判断)
 - ② 基礎疾患がある者(糖尿病、心疾患、呼吸器疾患等)
 - ③ 免疫抑制状態にある者(抗がん剤等を使用)
 - ④ 妊娠している者

宿泊療養
に移行

東横INN札幌すすきの南(120名程度)

札幌市内における宿泊療養（概要）

宿泊施設

- 東横INN札幌すすきの南（120名程度）を借り上げ
- 建物内は適切なゾーニングを実施
- 居室は「個室」（トイレ・入浴設備付）

基本的な対応

- 軽症者は建物内で生活（外出不可）
- 職員は電話で対応
※施設利用開始時の説明を除き、対面対応は行わない
- 職員に対する感染防護対策の指導、健康管理
※職員に対する感染防護対策の指導等に関しては、自衛隊に災害派遣要請を実施
- 療養者の自己負担は無し

健康管理

- 医師はオンコール対応
看護師・保健師は24時間常駐
- 急変時の搬送先を確保
- PCR検査の検体採取を実施
- 看護師等は、電話等により健康観察
※体温計を配布、1日2回体温測定
※自覚症状等の申告があった場合は、対面で健康観察
- ストレスに対する支援
※精神保健福祉センター等の協力

食事・生活支援

- スタッフは24時間常駐
- 食事・リネン類の管理
※アレルギー対応に留意
※対面せずに配布
- 日用品等の確保
※各室でwifi環境、テレビを確保
- 掃除・洗濯は自ら実施
※洗濯用の洗剤を配布
※ゴミについては、定められた集積所に自ら廃棄